



議会だより



小矢部市議会「議会報告会」を開催

市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、「議会報告会」を開催しました。
(写真：上段「石動コミュニティセンター」・下段「東蟹谷公民館」)

副議長 就任あいさつ

副議長 ふくしましょうりき
福島正力
(第50代)



このたび、議員の推挙によりまして、名誉ある小矢部市議会副議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であり、心から感謝申し上げます。

私は、もとより浅学非才でございますが、粉骨碎身の決意で、市政の進展と議会の円滑な運営のため、中村議長のもと、議会が公正に、しかも円満に運営されますよう、誠心誠意努力してまいる所存であります。

どうか、市民の皆様方のご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

目 次

| | | |
|-----------------------|-------|---|
| 概要 | | ② |
| 審議経過 | | |
| 特別委員会の設置 意見書（議員提出） | | |
| 議会報告会 | | ③ |
| 議会議員構成等 | | ④ |
| 可決議案等 | | ⑤ |
| 代表・一般質問 | | ⑩ |
| 議長交際費 | | |
| 12月定例会の日程 | | |
| 会務報告 | | ⑪ |
| 委員会報告 | | ⑫ |
| 傍聴のお知らせ | | |
| 編集後記 | | |

9月定例会の概要

9月5日から25日までの21日間を会期として開催しました。
初日は、平成24年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）など議案8件、最終日には、議員提出議案1件が上程され、計9議案を原案のとおり可決しました。

なお、平成23年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定7議案については、新たに設置しました決算特別委員会にて、継続審査とすることになりました。

また、健全化判断比率など2件の報告がありました。

9月定例会の審議経過

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 5日 | 本会議 |
| 7日 | 本会議（提案理由説明） 全員協議会 |
| 10日 | 議案調査日 |
| 11日 | 議案調査日 |
| 12日 | 議案調査日 |
| 13日 | 議会運営委員会 本会議（代表・一般質問） |
| 18日 | 防災・環境対策特別委員会 民生文教常任委員会 |
| 19日 | まちづくり特別委員会 産業建設常任委員会 |
| 20日 | 総務常任委員会 決算特別委員会 |
| 21日 | 委員長会議 |
| 25日 | 議会運営委員会 全員協議会 本会議（質疑・討論・表決） |

特別委員会の設置

◎ 決算特別委員会

平成23年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など、決算認定7議案を審査するため、9名で設置しました。

◎ 防災・環境対策特別委員会

東日本大震災を踏まえ、将来予想される砺波平野断層帯、呉羽山断層帯が起因となる地震等の各種災害に備えるため、また、原子力発電所の安全確保を含む対策や市民の災害時における健全な生活環境を確保するため、防災危機管理に関する調査及び自然エネルギー（再生可能エネルギー）として、太陽光、風力、小水力、バイオマス等の環境にやさしいエネルギー資源の利活用に関し調査するため、7名で設置しました。
（委員構成は次頁を参照）

意見書（議員提出）

◎ 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

国会及び政府に対して、地方自治法第99条の規定に基づき、平成24年9月25日に意見書を提出しました。

議会報告会を開催

市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、10月30・31日の両日、2会場同時に議会報告会を開催しました。会議では、はじめに市議会から、平成24年9月定例会の各常任委員会からの議案審査の状況について、担当議員から報告しました。さらに、市議会としての今後の行政課題について説明しました。

その後、市議会及び市政に関する意見交換を行い、参加者からいただきました貴重なご意見は、今後の市議会の運営に生かしていきます。

参加いただきました皆さん並びに開催にご協力いただきました小矢部市自治会連合会の皆さんに厚くお礼申し上げます。

なお、議会報告会での詳細は、次号168号（平成25年2月発行）でお知らせします。



議会議員構成

| 議 長 | なかむら しげき 中村 重樹 | 副 議 長 | ふくしま しょうき 福島 正力 |
|----------------|--------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 総務常任委員会委員 | 委員長 嶋田幸恵 白井 中 | 副委員長 嶋田幸恵 沼田信良 | 嶋田幸恵 尾山喜次 |
| 民生文教常任委員会委員 | 委員長 石田義弘 福島正力 | 副委員長 藤本雅明 多田 勲 | 藤本雅明 宮西佐作 |
| 産業建設常任委員会委員 | 委員長 吉田康弘 中村重樹 | 副委員長 義浦英昭 中西正史 | 義浦英昭 砂田喜昭 |
| 議会運営委員会委員 | 委員長 多田 勲 吉田康弘 | 副委員長 嶋田幸恵 沼田信良 | 嶋田幸恵 砂田喜昭 宮西佐作 |
| 防災・環境対策特別委員会委員 | 委員長 宮西佐作 義浦英昭 | 副委員長 嶋田幸恵 石田義弘 | 嶋田幸恵 沼田信良 中西正史 多田 勲 |
| まちづくり特別委員会委員 | 委員長 尾山喜次 藤本雅明 | 副委員長 吉田康弘 白井 中 | 吉田康弘 福島正力 嶋田幸恵 砂田喜昭 |
| 決算特別委員会委員 | 委員長 宮西佐作 義浦英昭 尾山喜次 | 副委員長 白井 中 吉田康弘 藤本雅明 砂田喜昭 | 白井 中 嶋田幸恵 鳥田一朗 嶋田幸恵 |
| 議会だより編集委員会委員 | 吉田康弘 石田義弘 嶋田幸恵 中村重樹 | | |

議会選出委員等

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 監 査 委 員 | 中西正史 |
| 小矢部川中流水害予防組合議会議員 | 義浦英昭 白井 中 石田義弘 |
| 砺波地方衛生施設組合議会議員 | 福島正力 嶋田幸恵 中村重樹 |
| 砺波地方介護保険組合議会議員 | 藤本雅明 石田義弘 嶋田幸恵 砂田喜昭 |
| 砺波地域消防組合議会議員 | 義浦英昭 石田義弘 嶋田幸恵 中村重樹 |
| 高岡地区広域圏事務組合議会議員 | 吉田康弘 尾山喜次 宮西佐作 |
| 民生委員推薦会委員 | 福島正力 石田義弘 |
| 国民健康保険運営協議会委員 | 藤本雅明 白井 中 中西正史 |
| 上水道審議会委員 | 福島正力 沼田信良 砂田喜昭 |
| 市勢総合計画審議会委員 | 吉田康弘 福島正力 石田義弘 嶋田幸恵 中村重樹 |
| 公害対策審議会委員 | 吉田康弘 藤本雅明 嶋田幸恵 |
| 都市計画審議会委員 | 吉田康弘 藤本雅明 嶋田幸恵 沼田信良 尾山喜次 |
| 交通安全対策協議会委員 | 中村重樹 |
| 有線テレビジョン放送番組審議会委員 | 中村重樹 |
| 寿永荘運営委員会委員 | 吉田康弘 石田義弘 嶋田幸恵 |
| 小矢部市土地開発公社理事 | 義浦英昭 藤本雅明 嶋田幸恵 |
| 財団法人クロスランドおやべ理事 | 義浦英昭 白井 中 福島正力 |
| 社会福祉法人小矢部福祉会理事 | 中西正史 |
| 社会福祉法人清楽会理事 | 尾山喜次 |
| 農業委員会委員 | 中村重樹 尾山喜次 砂田喜昭 |

9 月定例会で可決された議案

(補正予算)

- 議案第28号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)
- 議案第29号 平成24年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第30号 平成24年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

(条例の一部改正)

- 議案第31号 小矢部市営有料駐車場条例の一部改正について
- 議案第32号 小矢部市災害対策本部条例の一部改正について
- 議案第33号 小矢部市防災会議条例の一部改正について
- 議案第34号 小矢部市下水道条例の一部改正について

(その他)

- 議案第35号 平成23年度小矢部市水道事業会計利益の処分について

(追加議案・議員提出)

- 議員提出議案第4号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

9 月定例会で否決された動議

(追加動議)

- 動 議 議長不信任動議

9 月定例会で継続審査とされた決算認定議案

(決算認定)

- 認定第1号 平成23年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成23年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成23年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成23年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成23年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第6号 平成23年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第7号 平成23年度小矢部市水道事業会計決算

代 表 質 問

創生会 島田 一郎 議員

◎仮称アートハウスの施設について

【問】アートハウスの施設調査検討チームから、仮称アートハウスの施設に関する中間報告があったが、子どもの想像力、感性の育成、増幅を思う中、子どもの教育にしっかりととした財源、惜しみない財源をと願う。

【答】中間報告書では、子どもたちの想像力と感性を育む施設をコンセプトとして掲げており、また、学習の場として子どもたちに対する作品鑑賞、創作体験などの実施が提案されている。様々なプログラムを提供することにより、教育の効果は十分期待できる。検討委員会では、建設費総額の上限を2億5千万円程度としており、寄付金1億5千万円の申し出がある中で、市の出費は1億円程度になると見込まれる。年間運営管理コストは1千万円以内との提言を受け、検討チームで3つの利用計画案が提案されている。

【問】美術館に脳の活性化を図る美術療法の臨床美術を取り入れて、急増している認知症患者の予防、改善を図ればどうか。

【答】アートハウスの施設の一室を臨床美術の場として設けることは建設費、面積確保といった点から検討を要する課題である。臨床美術を介護予防事業として取り入れる場合は、介護予防関連施設などのアートプログラムを実践するやり方が最も適しているが、作品展示を行うなどの方法で連携することも十分可能である。いづれにしても、まだ検討段階であり、年内の最終報告の内容を見て市として最終的な判断をしたい。

◎自然エネルギーの活用について

【問】本市の小水力発電の調査結果と今後の展望について伺う。

【答】小水力発電の可能性調査について、現在コンサルタント会社に業務を発注し、報告書の作成を9月末までにまとめられるよう作業を進めている。今後、この報告書をもとに導入効果、経済性、事業主体等を検討し、本市の指針をまとめたい。

【問】バイオマスエネルギーの活用について伺う。

【答】平成23年度にバイオマス活用推進庁内会議を設置し、活用推進計画の基礎となるバイオマス賦存量及び現在の利用状況を調査した。

この調査をもとに、平成24年度にはバイオマス活用推進計画策定委員会を設置し、計画の策定にあたる。バイオマスエネルギー全体の活用方法は、今後活用推進計画策定委員会で検討したい。

【問】クロスランドタワーへの太陽光パネルの設置と売電について伺う。

【答】構造上、太陽光パネルの設置を前提としたタワー建築をしていないため、設置にどのくらいの補強工事が必要かなど、構造計算の必要がある、相当のコストがかかる。また、技術的にも困難な側面もある。さらに、発電効率や景観の点からも垂直なタワー外壁面の設置は適当ではないと考えている。



*クロスランドタワー

◎防災・減災について

【問】避難所での熱源、特に冬場の暖の確保、毛布等物資の確保も含めた避難所のあり方について伺う。

【答】屋外避難所46箇所、屋内避難所57箇所を現在選定している。発生する災害をもとに避難所を指定することが望ましいことから、災害に応じたハザードマップ作成の中で避難場所を検討したい。

【問】防災士の今後の育成、活動要請について伺う。

【答】防災士は平常時には防災意識の啓発、防災訓練や技術の向上などの活動をされており、災害時の活躍が期待されている。現在市内には防災士が14名であり、1名もいない地区も存在することから平成24年度から資格取得制度を設け、地区防災会の推薦を受けた10名が受講される予定である。

【問】防災行政無線の早期の点検、増設など、今後のあり方についてどうか伺う。

【答】現在の防災行政無線は、昭和57年度に完成したものであり、14箇所の支局が整備されている。今日デジタル化が求められており、平成25年度整備に向けて、平成24年度は支局の増設等も含めて実施計画を進めている。また、デジタル化により相互通信が可能になるため、集落が孤立した場合でも支局から本部へ通話することが可能となる。

代 表 質 問

政 友 宮 西 佐 作 議 員

◎石動駅周辺を含む市内全体 の道路計画について

【問】北陸新幹線開通に伴い、並行在来線や石動駅周辺整備に力を注いでいるが、パーク・アンド・ライドの活用が必要である。そのためには、広大な駐車場や公共交通機関が十分に利用できる便数確保として何より駐車場までのアクセス道路の整備が必要ではないか。

【答】本市の道路網は、幹線支線が機能的にネットワークされていると考えているが、現在の社会情勢、交通事情に合わず、車道幅員が狭い路線、歩道が未設置の路線など円滑で安全な交通が確保されていない路線がまだ多く残されていると認識している。本市としても、県に対し市の重点事業要望として、また各整備促進期成同盟会の要望として、その整備の必要性を関係機関に強く訴えてきており、市民挙げての取り組みを強化していきたい。

【問】砺波市、南砺市、国道8号線から石動駅まで、そして道の駅へのアクセス道路の整備が特に必要でないか。将来を見据えた市内全体の道路計画、例えば市内環状道

路や高規格道路などについて示す必要があるのではないかと。

【答】アクセス道路の整備は、国道8号線俱利伽羅トンネルの整備に加え、平成24年度から桜町西から芹川東までの4車線化の早期事業化を重要な課題として国に強く要望しており、高岡市、津幡町、金沢市方面からの交通の利便性の向上を図りたい。また、砺波市、南砺市方面からのアクセス道路については、引き続き県に対し要望していきたい。町づくりからの観点からも、石動駅周辺を含めた道路整備は重要な課題と考えており、今後とも県近隣市町との連携の強化を図りながら安全で安心な道路整備に努める。



*小矢部砺波ジャンクション

◎今後の小矢部市農業について

【問】平成24年5月全国農業委員会会長大会において、第4回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰があり、当市の農業委員会が全国農業会議所会長特別賞を受賞された。米田会長を先頭に委員会が率先して耕作放棄地の解消に取り組まれた結果であり、大変喜ばしいことである。平成19年から平成22年の4年間に8.2ヘクタールを解消されたが、耕作放棄地の現状と今後の取り組みについて伺う。

【答】平成23年度末の農地利用状況調査では、約8.6ヘクタールとなっている。今後の取り組みとしては、農地パトロールや農地利用状況調査などを実施し、耕作放棄地の解消や発生防止に向けた活動を推進する。また、農地パトロールの時期に限らず、年間を通して各担当地区の農業委員が中心となり、各生産組合長や集落営農組織代表者の協力のもと、地権者や耕作者に指導を行っていく。

【問】最近イノシシなどの出没が例年になく多いが、鳥獣被害の現状と今後の対応について伺う。
【答】平成24年8月末において、イノシシによる農作物の被害面積が約1ヘクタール前後であり、昨年同期の0.4ヘクタールに比べ被害は

大きくなっている。本市では被害防止のため、平成24年度は電気さく約33キロメートル、捕獲用おり14基を整備した。平成23年度は9匹、平成24年度は3匹捕獲した。平成25年度も引き続き国の交付金の活用等により被害防止に向けた整備を推進する。



*イノシシ捕獲用おり

【問】野菜などの大規模産地化を目指す1億円産地づくり支援事業により、特産品の地位向上及び販売拡充にどのように携わり、支援していくのか伺う。

【答】本市でははと麦に対して国県及び市単独の助成措置を講ずるなど積極的に支援している。引き続き関係機関と連携しながら支援していきたい。

代 表 質 問

新風会 義浦 英昭 議員

◎介護保険事業について

【問】第5期小矢部市高齢者保健福祉計画が平成24年4月から3カ年を計画期間として実施されているが、日常生活圏域は余りにも差がありすぎるのではないか。次期計画に向けてバランスのとれたものに見直すべきでないか。

【答】第6期小矢部市高齢者保健福祉計画の策定時には人口や介護施設の実態も踏まえ、見直しの方向で砺波地方介護保険組合と協議したい。

【問】日常生活圏域ごとに高齢者の状況、環境などの地域ニーズを把握し、課題を明らかにして施策に生かすことが行政の責務と考えるが、どのような対応をしたのか。

【答】砺波地方介護保険組合では、日常生活圏域ニーズ調査に基づくアンケート調査を平成23年6月から7月にかけて、小矢部市内では240件のアンケート調査を実施して、地域密着型サービスの必要見込み量等の資料として活用している。次期計画では、日常生活圏域ごとのバランスに配慮されたニーズ調査を実施し、反映させていきたい。

◎地域農業の継続について

【問】農地・水保全管理支払交付金の継続状況と今後の見通しについて伺う。

【答】平成24年9月現在、55の活動組織が市と協定を結んでおり、農振農用地の約70%を占め、交付金では約8千万円を見込んでいます。今後は、新規に取り組む意向のある地区にサポートを行い、活動組織数の増加を図りたい。

【問】青年就農給付金事業の取り組み・支援状況の今後の見通しについて伺う。

【答】平成24年9月定例会に補正予算で1名分計上した。平成24年度から始まったこの事業では、就農前の研修段階での生活費、そして経営が不安定な就農直後の所得を確保する給付金として非常に有用な施策と考えている。

【問】人・農地プランの策定を計画されているが、現在の進捗状況と重点的な取り組みは何か。

【答】農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の発生など、農業を取り巻く種々の問題について、人・農地プランの策定を契機とし、集落、地区において継続的に話し合いが進化していくことを期待している。

◎今後の観光推進施策について

【問】北陸新幹線金沢開業まで2年半となったが、どのような施策を展開し、誘客の確保に努めるのか。金沢市や高岡市などの駅設置隣接地との連携はどう考えているのか。

【答】首都圏から新幹線を利用し本市へ訪れる観光客にとって、JRから分離される並行在来線などのアクセス向上が重要となってくる。今後は、観光周遊バス等の二次交通との連携とあわせ、旅行商品の開発にも力を入れるとともに、本市を含む高岡、金沢の広域観光ルートを確立し、定期観光バス運行等を旅行会社にも働きかけたい。

【問】義仲・巴プロジェクトの進捗状況について伺う。

【答】平成24年度には俱利伽羅源平供養塔前の四阿の改修工事、石動駅前の観光看板設置を進めている。さらに、平成24年12月には義仲・巴をテーマにした「能」の公演も開催する予定だ。署名活動は、小矢部市自治会連合会の呼びかけにより、富山県の各市町村の自治会にも署名活動の輪が広まっている。今後は、義仲・巴の関連グッズやグルメの開発・販売、観光客受入体制の充実、観光案内の強化や観光資源の整備等、官民で知恵を出

◎食を通じた地域活性化イベントの誘致について

【問】とやまグルメランドinおやべが9月8日、9日の2日間開催され、約6万人が訪れた。今後、食を通じた地域活性化イベントをどのように誘致していくのか。

【答】食のイベントを誘致できれば、本市の活性化に大きく寄与するものであり、情報収集に努めたい。本市では、ホワイトラーメンに代表されるご当地グルメの開発を行ってきたが、食を通じた本市のPR活動を行っていくことも非常に効果の高い取り組みであると考えている。



*とやまグルメランドinおやべ

し合い、関連事業を推進していく。

一 般 質 問

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】全国的に介護が必要な認知症の高齢者が30万人を突破し、65歳以上の10人に1人が認知症を患っている。本市の認知症認定者数と現状を伺う。

【答】本市の平成23年度の1年間の介護保険認定者は、1千8百人余りで、認知症の主要疾患の方が最も多く507人、約28%となっている。次に多い疾患が脳血管疾患の300人、約17%の状況となっている。

【問】最近認知症は、高齢者が高齢者を見る介護状態にあると思う。介護の状況を把握して、どのように対応するかが対策を立てられる一番早道でないか。

【答】在宅の方には、介護支援専門員等が訪問して、状況を把握している。必要なサービスを提案し、受けていただくよう現在も行ってきているので、今後も継続したい。

【問】認知症の方の入所施設の対策状況を伺う。

【答】第5期砺波地方介護保険事業計画では、グループホームで36人、小規模多機能居宅介護施設で50人の定員の増が予定されている。

【問】本市の地域包括支援センターの運営方針を伺う。

【答】認知症対策の推進、医療と介護の連携強化、高齢者の住まいの整備、生活支援サービスの向上を重点目標として取り組んでいく。

【問】認定調査されているが、しっかりとした意見交換の場を持たないと現状が見えてこないのではないか。

【答】地域に密着した保険、医療、福祉等の必要なサービスや支援の連携を強化し実施する地域包括ケアの実現に向けて、介護保険外のサービス、NPO、ボランティア等の地域資源の確保、人材育成等の総合的な支援体制を構築する。

【問】消防団員の活動が多様化しているが、報酬と活動についてどのように考えているのか。

【答】団員の皆さんは万々に備え日々鍛錬されており、地域の防災力維持向上には欠かせない重要な役割を担っておられる。大変心強く感謝したい。報酬については、平成23年度に砺波地区で調査を行った。他の呉西地区の市の調査を行い、各種手当てを含めた待遇改善を検討したい。

*その他、次の質問がありました。「児童・生徒の健全育成」、「受動喫煙」について

◎質問者 白井 中 議員

【問】石動駅市営駐車場料金の見直しの条例改正案が出されたが、これでは効果が少ない。現状報告と他市の動向等について伺う。

【答】石動駅の利用促進を図る目的で、時間制駐車場利用に100円券6枚綴りの回数券を500円で発行し、平成24年10月1日から実施を目標としている。曜日や時間帯によって若干余裕があり、石動駅利用者の増加、利便性の向上につながると考えている。また、富山、高岡及び魚津市でも駐車場回数券を発行しており、利便性向上につながっている。

【問】石動駅前駐車場の看板が非常に小さく、利用者が分かりにくい。もう少し大きい看板で、有料か無料かをはっきり記した方がいいのではないか。また、駐車白線の修復、駐輪場の修繕も必要でないか。

【答】今後よりよい駐車場表示について検討したい。また、補修、修繕については、予算的な面も含めながら計画的に考えていきたい。

【問】石動駅周辺のぎやかさを創出するための対策と方向性について伺う。

【答】にぎわい創出のために石動駅利用者の利便性の向上が重要な課題である。駅南広場、駅南駐車場の整備に加え、南北自由通路、駅南改札口の整備など、市民の意見を聞いた上で、石動駅の南北の一体化などを着実に進めていくことで、にぎわいの創出に努める。

【問】平成24年8月に労働契約法が改正され、有期労働契約の反復更新のもとで生じる雇いどめに対する不安を解消することとされた。本市で5年を超えて働く臨時職員には、この法律をよく説明されて、正しく理解していただき、決して雇いどめにする事なく、これまでに以上で生き生きと安心して働くことのできる環境を提供しなくてはいけないのではないかと伺う。

【答】本市の臨時職員は、毎年登録者の募集を行って、応募者から選考しており、地方公務員法に基づき勤務していただいている。臨時職員がより安心して働くことができる環境整備については、これまでも臨時保育士の賃金の見直し、社会保険や労働保険の加入はもとより、年次有給休暇等の勤務条件の改善に努めてきた。今後とも安心して働く環境づくりに努めたい。



一般質問

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】液状化マップの作成状況とその区域内の公共施設、民間住宅の液状化対策について伺う。

【答】液状化マップは、公表に向けて準備を進めている。公共施設は建設地の地質調査に基づき設計しているのを考慮済みである。民間住宅については市民への情報提供、普及啓発に務めたい。下水道管は埋め戻し土の密度を高めている。

【問】志賀原発の北側9kmに富来川南岸断層があり、原発直下のS1断層と連動する恐れがある。志賀原発の廃炉は不可欠でないか。

【答】原子力安全保安院から原子力発電所事業者に対し、活断層の再調査が要請されている。国において、専門家の意見を踏まえ、安全・安心の確保の観点から徹底した調査・検証が不可欠と考えており、その結果を見守りたい。

【問】スピーディによる放射能拡散予測図の作成とそれに基づく避難計画の検討や、ヨウ素剤を学校、保育所などに配備し、保管場所の確認と服用の訓練をすべきだ。

【答】ヨウ素剤は、市購入分を市備蓄倉庫に、県からの配布分を県厚生センター小矢部支所に保管して

いる。学校等での備蓄が有効と考えられるが、国の法制化、県地域防災計画を踏まえ対応したい。

【問】利賀ダムの治水効果は少ない。利賀ダムに1千億円超を使うより既存ダムの活用や河川改修が効果的でないか。

【答】利賀ダムの治水効果は、国で検証中である。国交省から、雄神橋地点で水位を下げる効果は約10センチと聞いている。河川改修は引き続き国に要望していきたい。

【問】家庭系・事業系の生ごみをバイオマスとして活用する方策、また、木質ペレットボイラーの公共施設への導入について伺う。

【答】平成24年度に設置するバイオマス活用推進計画策定委員会において検討される課題である。

【問】竹の堆肥化、飼料化、紙への有効利用について伺う。

【答】県では堆肥化を目指し、チップ機の貸し出しをしている。飼料化は試験的に進められており、バイオマスの有効活用の一つである。また、紙パルプの原料として有効活用が図られている。

*その他、次の質問がありました。
「メタバ検診・一日ドックへの助成」について

◎質問者 石田 義弘 議員

【問】教育というのは、やり直しがきかないものだ。学習指導要領改正で、脱ゆとり教育に方向性が変わったが、ゆとり教育と脱ゆとり教育の功罪について伺う。

【答】新学習指導要領が実施されたことから、ゆとり教育から脱ゆとり教育へと転換されたと一般的には表現されますが、ゆとり教育についても社会的には支持する考え、批判する考え、いろいろある。結論を出すにはもう少し分析が必要であり、現時点での評価は難しいと考える。

【問】いじめ問題について、本市の対応はどうか。

【答】教育センターを中心に定期的に各学校を訪問することにより、不登校、いじめの実態を把握し、早期対応を図る。また、スクールカウンセラーや子どもと親の相談員の適切な配置による相談活動の充実強化、スタディメイトの配置による特別支援教育の推進などを通じて、不登校やいじめを生まない環境づくりに努める。

【問】長期不在の空き家はどのくらいあるのか。空き家実態調査の実施予定はあるのか。また、空き地

については把握しているのか。

【答】本市における空き家、空き地の詳細な調査を行っていないが、今回実施したタウンミーティングで、この問題を市民の方から指摘があった。管理が不十分で、老朽化した空き家は、周囲に与える影響も非常に大きく、また地震などの災害時に建物が倒壊し、道路を封鎖するなど、住民避難、災害復旧などの妨げになることから、まずは所有者に対策を講じるよう強く要請したい。

【問】本市における高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増えている。ひとり暮らしの現状把握及び生活支援について伺う。

【答】ひとり暮らしの状況については、市社会福祉協議会と民生委員、児童委員が連携して、要介護高齢者や障害者、ひとり親世帯などを訪問のうえ、聞き取り調査を行い、「ほのほの福祉世帯カード」の作成により、把握している。なお、現在のひとり暮らし高齢者の登録人数は528人ですが、このカードの登録に同意されない方や病气、障害などのない方は把握していない。ケアネット活動事業により、生活支援につなげたい。

一 般 質 問

◎質問者 藤本 雅明 議員

【問】東日本大震災の甚大な被害を踏まえ、本市では平成24年度から防災危機管理班を設置されたが、どのような活動をされているのか。

【答】防災に関する窓口の明確化や防災に関する各課の連携を図るため、総務課内に設置した。地域防災計画の内容を協議するほか班員の研修訓練を行う予定である。

【問】地域防災計画を見直すのとこのだが、災害時には各部課職員がすぐ対応でき、各自の役割が明確に分かるように、この計画に盛り込んでいただきたい。

【答】地域防災計画は非常に多くの内容が記載されており、全ての職員がこの計画を熟知行動することは困難だと考えており、分かりやすい「職員行動マニュアル」について平成24年度中に作成する。

【問】東日本大震災では、アマチュア無線の資格を持つ消防団員が機転を利かせ、住民救出につながった。地域防災計画の中にアマチュア無線クラブとの連携協力体制を取り入れてはどうか。

【答】広域的に通信が可能なアマチュア無線クラブとの連携は、情報伝達の手段として大変有効だ。

現行の地域防災計画にも盛り込んであるが、より具体的に計画に盛り込み、災害協定締結についても検討したい。

【問】平成24年7月から運用している本市の公式フェイスブックに、イベントの様子や状況をタイムリーにアップすれば、本市のPRにもつながる。プロジェクトチームをつくり有効に運用することが必要だと考えるがどうか。

【答】市ホームページの補助として活用しており、イベントを中心に発信している。今後多くの情報が迅速に発信できるよう努める。

【問】ネット通販が好調である。小矢部市でも小規模事業者も参入できるフェイスブックを活用したネット通販サイトを開設されてはどうか伺う。

【答】可能性は十分認識している。商品のトラブル、セキュリティの脆弱性などについて、調査検証したい。

【問】老朽化した空き家が問題化してきており、空き家対策条例等の整備が必要でないか伺う。

【答】国での法整備を市長会等通じて要望するとともに、他市の状況も調査したい。

平成24年度 議長交際費支出状況

平成24年4月～平成24年9月分 (単位:円)

| 区 分 | 件数 | 金 額 |
|-----------|----|-----------|
| 1 慶弔・見舞費 | 11 | 161,890 |
| ① 御祝・寸志 | 4 | 51,890 |
| ② 餞 別 | 4 | 80,000 |
| ③ 香典・供物 | 3 | 30,000 |
| 2 協 賛 費 | 15 | 90,380 |
| 3 会費・懇談会費 | 10 | 95,000 |
| 4 そ の 他 | 9 | 62,450 |
| 合 計 | 45 | 409,720 |
| 平成24年度予算額 | | 1,400,000 |
| 執 行 率 | | 29.27% |

※小矢部市ホームページからもご覧になれます。

インターネットで 本会議を録画配信中!

本会議はケーブルテレビに加え、より多くの市民の方に視聴いただけるよう、7月からインターネットを使い、小矢部市議会のホームページで公開しています。インターネットでは本会議の録画中継のみです。現在、6月及び9月定例会の本会議を配信しますので、ぜひご覧ください。

12月定例会の日程

太字はCATV・インターネット録画配信の放送予定

全員協議会

7日(水)10時 本会議(提案理由説明)

10日(月) 議案調査日

11日(火) 議案調査日

12日(水) 議案調査日

13日(木)9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

14日(金)10時 本会議(一般質問)

17日(月)10時 防災・環境対策特別委員会

14時 民生文教常任委員会

18日(火)10時 まちづくり特別委員会

14時 産業建設常任委員会

19日(水)10時 総務常任委員会

20日(木)14時 委員長会議

21日(金)10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

■ 会務報告

平成24年6月23日～平成24年9月4日

| 年月日 | 件名 | 摘要 | 開催地 |
|----------|--------------------------------------|---|-------------|
| 24. 6.25 | 小矢部川中流水害予防組合議会定例会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 | 特別会議室 |
| 6.28 | 砺波地方介護保険組合行政視察 | ・特別養護老人ホーム等 | 富山市・小矢部市 |
| 6.29 | 平成25年度重点事業要望 | ・富山県出先機関 | 高岡市・小矢部市 |
| 7. 2 | 平成25年度重点事業要望 | ・富山河川国道事務所 ・富山県庁 | 富山市 |
| 7. 2～6 | 第1回富山県日台友好議員連盟訪台団議員派遣 | ・中華航空本社、台湾観光局、台湾市、台南市、高雄市等表敬訪問 | 台湾 |
| 7. 3 | 一般国道8号整備促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について ・事業説明 | 高岡市 |
| | 主要地方道小矢部伏木港線改修期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について ・事業説明 | 高岡市 |
| 7. 4 | 平成25年度重点事業要望 | ・北陸農政局 | 金沢市 |
| 7. 6 | 庄川左岸地区用排水対策促進協議会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・国営及び附帯事業執行状況説明 | 砺波市 |
| 7.10 | 平成25年度重点事業要望 | ・北陸地方整備局 | 新潟市 |
| 7.11～12 | 平成25年度重点事業要望 | ・国会議員、民主党 ・国交省、農水省、文科省、NHK | 東京都 |
| 7.17 | 国道471号整備促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・整備状況説明 | 津沢コミュニティプラザ |
| | 主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・整備状況説明 | 津沢コミュニティプラザ |
| 7.19 | 能越自動車道建設促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について | 高岡市 |
| 7.20 | 総務常任委員会 | ・小矢部フロンティアパークの分譲価格の改定について等2件報告 ・事務事業評価（5事業）について | 第二委員会室 |
| 7.24 | 民生文教常任委員会 | ・調査事項（美術館建設の必要性・運営に関して）について調査 ・不登校傾向児童生徒の概要等について1件報告 | 第二委員会室 |
| 7.25 | 全員協議会 | ・行政委員会等の会務報告 ・小矢部市制50周年記念式典の実施について等11件報告 | 第二委員会室 |
| | 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟理事会・総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・記念講演 | 富山市 |
| 7.26 | 議会だより編集委員会 | ・第166号発刊について | 第二委員会室 |
| | 国道359号改修促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・道路現況説明 | 砺波市 |
| 8. 2 | 砺波地方衛生施設組合定例会 | ・平成23年度一般会計決算 | 高岡市 |
| 8. 3 | 庄川・小矢部川改修促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について | 高岡市 |
| | 岸渡川改修促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について | 高岡市 |
| 8. 6 | まちづくり特別委員会 | ・石動駅南土地地区画整理事業の保留地について等3件報告 | 第二委員会室 |
| | 産業建設常任委員会 | ・豪雨被害について2件報告 ・事務事業評価（4事業）について | 第二委員会室 |
| | 砺波地域消防組合議会運営委員会 | ・8月定例会提出議案について | 砺波市 |
| | 利賀ダム建設促進期成同盟会総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員改選について | 砺波市 |
| 8. 9 | 民生文教常任委員会 | ・事務事業評価（6事業）について | 第二委員会室 |
| | 日中友好富山県地方議員連盟理事会・総会 | ・平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算案 ・役員選任について ・記念講演 | 富山市 |
| 8.10 | 富山県西部地区正副議長研修会 | ・講師 富山県並行在来線担当課長「北陸新幹線開業に伴う諸課題について」 | 水見市 |
| 8.13 | 砺波地方介護保険組合議会運営委員会 | ・8月定例会提出議案について | 砺波市 |
| 8.22～23 | 高岡地区広域圏事務組合行政視察 | ・清掃センター（焼却施設） | 新潟市 |
| 8.23 | 富山県市議会議長会臨時総会 | ・事務報告 ・平成23年度決算報告 ・北信越市議会議長会評議員会提出議案について ・平成24年度定期総会開催について | 砺波市 |
| | 富山県知事との懇談会 | ・要望 | 砺波市 |
| 8.27 | 全員協議会 | ・民生文教常任委員会報告 ・行政委員会等の会務報告 ・小矢部市制施行50周年記念事業等9件について報告 | 第一委員会室 |
| | 小矢部市議会50周年記念議会 | ・小矢部市議会記念決議 | 議場 |
| 8.28 | 砺波地域消防組合議会定例会 | ・平成24年度一般会計補正予算 ・平成23年度一般会計決算等 | 砺波市 |
| 8.29 | 議会運営委員会 | ・平成24年9月小矢部市議会定例会提出議案等について | 第二委員会室 |
| | 砺波地方介護保険組合議会全員協議会・本会議 | ・平成24年度介護保険事業特別会計補正予算 ・平成23年度一般会計決算等 | 砺波市 |

■ 市外からの行政視察

(3件 20人)

| 年月日 | 視察者 | 視察項目 | 人数 |
|----------|----------|-------------------|----|
| 24. 6.25 | 福岡県岡垣町議会 | ・福祉問題（高齢者対策等）について | 6人 |
| 24. 6.28 | 新潟県妙高市議会 | ・議会基本条例について | 6人 |
| 24. 7.24 | 長野県生坂村議会 | ・耕作放棄地解消活動について | 8人 |

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、本市は、防災力向上を図るため、その専門的知識を有し、地域リーダーとして活躍する防災士の養成に力を注いでいる。そのことから、本市における防災士の組織化を促し、広報等で市民へ紹介し、防災士がその力量を発揮できる機会を設けていくことが必要である。特に防災会議においては、自主防災組織の構成員であり、学識経験者でもある防災士の参画が不可欠である。ぜひ本市の防災に尽力いただくためにも防災会議への参画を求める。また、各地区複数人の防災士を速やかに育成すること。

二点目は、小矢部市の施設を運営する指定管理者には、定期的な監督指導に努めること。本市の施設としてふさわしい、市民の信頼を得る施設として、経営から従業員の接遇に至るまで、市はその指定管理者の監督者としての責務を果たすこと。

三点目は、土砂災害ハザードマップについては、一日も早く作成し、対象

地区はもとより全戸に配付すること。また、全国瞬時警報システム（J-ALERT）の運用に必要な防災行政無線デジタル化整備を遅れることなく確実に推進すること。加えて木造住宅耐震改修支援事業もあることから非常時に備え、住宅の耐震診断をまず受けるよう市民への広報に努めるなど、安心安全なまちづくりへの施策をより効果的に推進すること。

産業建設常任委員会

一点目は、富山県企業局の西部水道用水供給については、3年ごとに協議し、受水協定を結んでいるが、平成25年度の改定時には、受水単価と受水量の引き下げが図られるよう、関係市と連携・調整を図りながら、富山県企業局に対し強く要望すること。

二点目は、循環型社会の形成を図るため、バイオマス活用推進計画策定委員会が設置されたが、バイオマス資源の利活用について、具体的な検討はもとより、将来ビジョンを示し、資源分野ごとの目標設定を行うなど、その効果を確認できる計画とするよう努めること。また、検討結果については、速やかに議会に対し報告すること。

民生文教常任委員会

一点目は、いじめは、決して許されないことであり、また、どの子供にも、どの学校でも起こり得るものである。小矢部市では毎学期ごとのいじめアンケートを取ったり、地域見守り隊、先生、保護者等と連絡を取りながら早期発見に努めている。また、インターネットによるいじめもなかなか発見できないのが実情だと思うが、今後先生方に対して、ネット専門のいじめの対応研修が実施されると報告された。しかし、いじめは本当にいつ発生するか分からない状況である。子供達のいじめのサインを見落とすことなく、これからも継続して十分に対策に当たること。

二点目は、平成24年3月に策定された第5期小矢部市高齢者保健福祉計画の中で、小矢部市の高齢者の9人に1人が認知症と報告された。小矢部市でも高齢化が進み高齢化率が今年度30パーセントを超えようとしている現状がある。生きがい活動支援通所事業やふれあいいきいきサロンの事業等の高齢者対策事業をされているが、認知症予防対策にこれといった決定的なものはない。認知症サポーター養成事業や認知症を知る集い等、将来を見据えた認知症高齢者対策への取り組みを強化すること。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様は、傍聴をお待ちしております。本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

編集後記

市議会では、より多くの市民の皆さんに市議会の活動を知っていただくため、2会場同時に2日間にわたり、議会報告会を開催しました。これからも、積極的な情報の公開を行うとともに、議員の自己研鑽と資質の向上を図り、市民に信頼され、存在感のある豊かな議会を築きたいと思っております。

9月定例会において、議会だより編集委員の構成を新たに選考しました。わかりやすく、見やすい紙面作りに努め、議会の状況を市民の皆様にお伝えします。

今回の「議会だより」は、平成25年2月の予定です。（議会だより編集委員一同）